

問題点

✕ 調理室の手洗い設備がないため、作業区分ごとの手洗いの際に、汚染作業区域の手洗い設備を使用していた。



改善点

改善費用 中

○ 調理室に手洗い設備を設置し、作業区分ごとに十分な手洗いができるようにした。



改善事例4

洗浄室の手洗い設備の設置

問題点

✕ 洗浄作業区域の手洗い設備が1箇所設置されていたが、使用しづらい場所に設置されていたため、使用されていなかった。



改善点

改善費用 中

○ 洗浄作業区域の残食や廃棄物を取り扱った後や、洗浄前後・途中に使用しやすい場所に手洗い設備を設置した。



指導のポイント

作業途中に食肉類や魚介類、卵等汚染度の高い食品、他の食品や器具類に触れた後や、切裁作業後に加熱作業を行うなど異なる作業に移ったりする時等には、手洗いが必要です。
このため、作業区分ごとに、使用しやすく、周りを汚染しない位置に手洗い設備を設置する必要があります。

【わずかな経費で行える手洗い設備の改善事例1】

改善事例1

改善費用 小

問題点

✕ 固形石けんを使用していた。



改善

改善点

○ 液体石けんを使用することにした。しかし手洗いが小さいため、更なる改善が必要である。



改善事例2

改善費用 小

問題点

✕ 洗浄と消毒を兼ねた洗浄殺菌剤を使用し、消毒用アルコールによる消毒が省かれていた。



改善

改善点

○ 液体石けんと消毒用アルコールを設置し、十分な洗浄・消毒ができるようになった。



指導のポイント

液体石けんと消毒を兼ねた洗浄剤を使用している調理場がありますが、手洗いマニュアルに示してあるとおり、洗い残しの微生物を殺すためには、アルコールを使用し、指先や爪の間まで確実に消毒を行います。そのため、液体石けんと消毒用アルコールを設置する必要があります。

改善事例3

問題点

✕ 前室の手洗いの手順を示した掲示物が、調理従事者の見えにくい場所に掲示してあったため、毎日の手洗いが手順を確認しながら行われていなかった。



改善点

○ 前室の手洗いの手順を示した掲示物を手洗い設備の正面に掲示したため、調理従事者が手洗い手順を確認しながら適切な手洗いが行えるようになった。



改善

改善事例4

改善費用 小

問題点

✕ ゴミ箱に蓋がなかったため、細菌やウイルスが付着したペーパータオルが溢れ出たり、乾燥したウイルスが浮遊したりして、周りを汚染する可能性があった。



改善点

○ ペダル開閉式の蓋付きゴミ箱に変更し、ペーパータオルの溢れや乾燥したウイルス浮遊を防ぐようにした。



改善

指導のポイント

ノロウイルスは乾燥すると塵になり、空気中に浮遊します。それが、人の口に入ると、ノロウイルスに感染したり、食材、食器等に付着すると食中毒になったりします。そのため、手洗い設備には必ず蓋付きのゴミ箱を設置するとともに、ゴミ箱のペーパータオルを長時間調理室に置けないことが大切です。

改善事例5

改善費用 小

問題点

✕ 消毒用アルコールを液体石けん用容器に入れ、手の平で押し出して使用しているため消毒液を爪の間や手にまんべんなく延ばした消毒ができなかった。



改善

改善点

○ 消毒用アルコールを自動噴霧器に入れて使用することで、消毒液を爪の間や手にまんべんなく延ばし、適切な消毒ができるようになった。



改善事例6

改善費用 小

問題点

✕ 作業区分ごとに爪ブラシが共用されており、手指に付着している細菌やウイルスが他の人にも付着する可能性があった。また、ブラシ部分が水受けに接触していた。



改善

改善点

○ 爪ブラシを個人別に用意するとともに、ブラシ部分が他に接触しないよう保管し、衛生的に管理できるようにした。



指導のポイント

爪ブラシは手洗いマニュアルに示しているとおり、前室で使用します。ブラシ部分が水受けに接触していると、その部分に細菌が増殖するので、水受けに接触しないように管理し、使用後には洗浄・消毒します。

冷水による手洗いは、温水に比べ汚れ落ちが悪くなります。特に冬季は、水が冷たくなり、手洗いが不十分になる可能性があります。

温水対応とするために、電気温水器を使用すると改修費用が少なくて済みます。

主な電気温水器 比較表

【瞬間湯沸かし器】



設置イメージ

【特徴】

- ・ 温水が瞬時に供給されるスピード給湯のため、大人数の利用に適している。
- ・ 省スペース：供給タンクを必要としないタンクレス
- ・ 本体価格 15万円程度

【仕様】

寸法（目安）高さ 250 × 幅 130 × 奥行 70mm
 電源 単相 200V 出力 8KW
 ※出湯温度（目安）38℃程度（3L/出湯の場合）

【注意点】

高出力（8kw・50A）のため、利用環境の電圧等を確認する必要がある。

【瞬間湯沸かし器貯湯型】



設置イメージ
 （写真は6L貯湯タイプ）

【特徴】

- ・ 貯湯タイプのため、少人数の利用に適している。
- ・ タイマーで沸き上がり時間を設定できる。
 （沸きあがり目安時間 40分間程度が必要。）
- ・ 貯湯量： 約 12L
- ・ 本体価格 15万円～19万円程度

【仕様】

寸法（目安）高さ 400 × 幅 250 × 奥行 320mm
 電源 単相 200V 出力 1.5KW
 ※出湯温度（目安）36℃程度

【注意点】

貯湯量が限られているため、連続使用では十分な湯沸かしができず湯の温度が低くなる可能性がある。

※参考として示していますので、詳細はメーカーに相談して下さい。

<改善のチェックポイント>

- | | |
|---|--------|
| ① 手洗い設備の位置、(前室、作業区分毎)や構造、設置数は適切である | はい・いいえ |
| ② シンクは肘まで洗える広さと深さがあり、手指を使わず給水できている | はい・いいえ |
| ③ 給水は、温水になっている | はい・いいえ |
| ④ 前室の手洗い設備は、調理従事者の人数に対応した数が設置してある
(入室に集中する調理従事者の人数が4～5人に1箇所程度) | はい・いいえ |
| ⑤ 石けん液、消毒用アルコールやペーパータオル等が常備されている | はい・いいえ |
| ⑥ 前室の手洗い設備には、個人用爪ブラシが常備され、使用後には洗浄・消毒が行われて、適切に保管されている | はい・いいえ |
| ⑦ 作業区域毎に、適切な位置に手洗い設備が設置してある | はい・いいえ |